



園だより

たかがみねこども園

6月は梅雨入りの時期。戸外で遊べない日が増えてきますが、室内でも身体を動かしたり、感触遊びや制作など、子どもたちが楽しめる活動を工夫して取り入れていきます。雨の日ならではの自然の変化や楽しさにも目を向けながら、感性豊かに過ごせるようにしていきたいと思えます。



～ 6月の目標 ～

● 梅雨ならではの遊びや自然に触れる

室内でも楽しく体を動かしたり、戸外ではこの時期ならではの生き物やお花を見つけたりして、自然への興味を育てます。

● お友だちと仲良く遊ぶ

相手の気持ちに気づき、思いやりの気持ちをもてるようにしていきます。

おもちゃで遊ぶことは楽しいことですが、片づけはちょっと苦手…というお子さんも多いですね。これから梅雨に入り、お家で遊ぶ時間が増えます。今から少しずつ「片づけの習慣」を身につけていけるといいですね。今回はお片づけを楽しく身につけるためのポイントをご紹介します。

● 環境を整えましょう

片づけの基本は、「使ったものを元に戻すこと」。まずは、子どもが自分で片づけやすいように、おもちゃの定位置を決めましょう。特に小さなお子さんには、棚の一番下の段が取り出しやすくおすすめです。成長に合わせて中段や上段に移していくと、自立心も育っていきます。

● 小さい頃から声かけを

片づけの習慣は、2～3歳からと思われがちですが、実はお座りができる頃から始められます。『このかごに入れてみようか』『ナイナイしようね』などとやさしく声をかけながら、一緒に片づけることが大切です。できたときには『すごいね!』『できたね!』と褒めてあげましょう。きれいになったお部屋の気持ちよさを伝えることも大切です。園では片づけも遊びの一部と捉え、「このお歌が終わるまでに片づけようね」と音楽を使ったり、お片づけ競走をしたりして楽しく取り組んでいます。

● 子どもが片づけやすい環境づくりのポイント

■ 片づけが5分以内に終わるおもちゃの量にする

子どもが集中できる時間は5分程度が目安。見える場所にたくさんおもちゃがあると、全部出したくなってしまいます。手の届く場所には少なめにし、あまり使わないものは別に保管しておくといいでしょう。時々入れ替えると、新鮮な気持ちで遊べます。

■ 小さめのかごを活用する

大きなおもちゃ箱よりも、小さなカゴの方が子どもにとっては扱いやすく、片づけもしやすくなります。

片づけの習慣は、一度身につけばずっと役立つ力になります。焦らず、楽しく、気長に。「片づけて気持ちいいね」という気持ちを大切に育てていけたらと思います。